

実施内容	格納庫と航空会社訓練施設の見学ツアー		体験領域	科学・先端技術
日付	令和5年10月17日(火)	場所	格納庫 / 航空会社訓練施設	
参加校	大田区立大森第一中学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 羽田空港に隣接する、普段立ち入ることができない格納庫で、実際に働く整備スタッフが巨大な飛行機のメンテナンスに取り組む姿を見学することを通して、安全な運航に向き合う姿勢を学び、理解を深めることをねらいとした内容になっています。 客室乗務員や貨物スタッフの仕事など、六つの職種の訓練状況を見学することで、働くことに対する生徒の関心・意欲を高め、将来の選択肢を増やすきっかけとなるようにしています。また、フライトシュミレーター等の先端技術を使用した訓練施設を見学することで、科学に触れるきっかけとなるようにしています。 			

格納庫見学

- ・見学前にスタッフから、整備部門についての説明を聞きました。工具にチップをつけて置き忘れを防止していることなど、安全に向けた取組を知り、感心した様子でした。
- ・格納庫では、航空機の大きさに圧倒されながら、その音や匂い、振動などを体感しました。
- ・現役客室乗務員からの案内で、飛行機のセンサーやエンジンについての説明を受け、生徒は真剣に耳を傾けていました。



航空会社訓練施設見学

- ・グラウンドスタッフや客室乗務員など様々な職種の訓練の様子を見学しました。
- ・脱出訓練で、実際に滑って訓練している様子を見て、「自分たちもやってみたい」といった声が上がりました。
- ・パイロットについての説明では、副操縦士になるまでに約5年、機長になるまでにはさらにそこから約10年が必要と聞き、驚きの声が上がりました。



参加した生徒の声・反応

- ・普段何気なく見ている飛行機は、たくさんの方の努力があって飛んでいることを知った。なかなか見ることのできない場所をたくさん見学できて、とても楽しかった。
- ・人々の安全面を第一に考え、お仕事されていることはすごいと思った。訓練等も時間がかかり、大変そうでしたが、一つ一つの積み重ねが大事なんだと感じた。女性でもパイロットになれると聞いて、私も飛行機を操縦してみたいと思った。